

令和7年度 檜山管内教育の重点

檜山の伝統の継承と発信による 持続可能な教育を目指して

檜山が見つないできた「子どもから出発する教育」

- ・地域資源を活用する探究的な学び
- ・手厚い環境を生かしたICTも積極的に活用する丁寧な教育



Evolution 進化 次代につなぐ教育を進める

協働による新しい価値の創造

- ・学校種間連携・接続の充実による就学前から就学後までを見通した資質・能力の育成
- ・総合的な学習(探究)の時間の改善・充実による探究のプロセスを意識した学習活動の推進
- ・不登校や帰国・外国人、病気療養児など多様な教育的ニーズに対応できる体制の強化

未来を創る人材の育成

- ・キャリア・パスポート等の活用によるキャリア教育の推進
- ・教育局独自研修を含む様々な研修機会の活用による指導力の向上
- ・校務の効率化等による教員の子どもたちと向き合う時間の確保と教職員のウェルビーイングの向上

持続可能な地域・学校づくり

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による魅力ある地域・学校づくり
- ・地域の人的・物的資源の活用による地域全体で支える部活動の地域展開
- ・WebサイトやSNS等の積極的な活用による学校教育や地学協働等に関する情報発信の推進

Deepening 深化 見つないできた伝統や専門性を深める

子どもの可能性を引き出す教育

- ・教育課程の実施状況の適切な評価による改善を図る検証改善サイクルの充実
- ・豊かな自然や文化財、人材等の活用によるふるさと教育の充実
- ・ICT等の効果的な活用による柔軟で質の高い学びの充実

一人ひとりに寄り添う指導や支援

- ・コミュニケーション能力の向上や生徒指導体制の強化によるいじめの未然防止・早期対応の充実
- ・子どもの自立や社会参加に向けた通級指導体制の確立等による特別支援教育の充実
- ・スクールカウンセラー等の専門家との連携による教育相談体制の充実

学校・家庭・地域の連携・協働

- ・家庭や地域との一層の連携による道徳教育の充実
- ・公立図書館等との一層の連携による読書活動の推進及び学校図書館の整備・充実
- ・地域との一体的な取組による交通安全・防災・防犯教育等の充実

※ 〇数字は北海道教育推進計画の施策項目



管内には、公立幼稚園が2園、公立認定こども園が2園、小学校が15校、中学校が10校、高等学校が4校、特別支援学校が1校あります。

また、スポーツ団体、文化団体、女性団体等の社会教育団体も多数あります。伝統的な祭りや伝統芸能も多く、大人から子どもへと代々受け継がれています。

檜山教育局では、北海道が目指す教育の基本理念である「自立」と「共生」の実現に向けて、「檜山の伝統の継承と発信による持続可能な教育を目指して」を管内教育推進のテーマとし、檜山の未来を拓く人材の育成に向けて取組を展開しています。

各学校においては、個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実を目指した教育活動に取り組んでいます。

また、今日的な教育課題に対応した学習や体験活動の機会の充実を図る取組についても積極的に行われています。



宿泊体験事業ひやまをつなごう(乙部町)



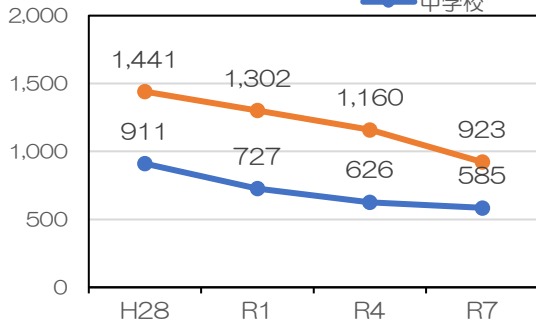
奥尻航路体験航海(奥尻町・江差町)

●小・中学校児童生徒数の推移 (単位:人・年度)

●国指定文化財

(令和7年3月現在)

(令和7年5月現在)



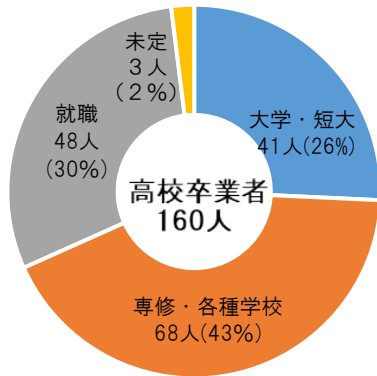
「北海道教育庁檜山教育局調べ」

名称	種別	所在地	指定年月日
ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地	天然記念物	江差町	大正11.10.12
鶴川ゴヨウマツ自生北限地帯	天然記念物	厚沢部町	昭和3.2.7
旧中村家住宅	重要文化財	江差町	昭和46.12.28
北海道美利河1遺跡出土品	重要文化財	今金町	平成3.6.21
旧笹浪家住宅	重要文化財	上ノ国町	平成4.1.21 平成30.12.25
上ノ国寺本堂	重要文化財	上ノ国町	平成5.4.20
北海道上ノ国勝山館跡出土品	重要文化財	上ノ国町	平成20.7.10
ピリカ遺跡	史跡	今金町	平成6.4.26
松前氏城跡、福山城跡、館城跡	史跡	松厚沢部町	平成14.9.20
上ノ国館跡(花沢館跡、洲崎館跡、勝山館跡)	史跡	上ノ国町	平成18.3.31
松前神楽	無形民俗文化財	せたな町	平成30.3.8
計 11件			

●高校卒業後の進路状況 (令和7年3月現在)

●主な郷土芸能

(令和7年3月現在)



「北海道教育庁檜山教育局調べ」

町名	郷土芸能名	町名	郷土芸能名
江差町	江差沖揚音頭	上ノ国町	大留鹿子舞
	江差鉦踊り		滝沢豊漁太鼓
	五勝手鹿子舞		石崎奴
	江差土場鹿子舞		上ノ国昔踊り
	江差田沢鹿子舞	厚沢部町	安野呂鹿子舞
	江差追分		当路鹿子舞
	江差追分踊り		土橋鹿子舞
江差三下り	せたな町	上俄虫鹿子舞	
江差餅つき囃子		目名権現獅子舞	
乙部町	豊浜三鹿鹿子舞	せたな町	久遠神楽
奥尻町	奥尻祈漁太鼓		北海久遠太鼓
今金町	今金狩場太鼓		松前神楽
	神丘黎明太鼓		二俣風神太鼓
	松前神楽		浮島竜神太鼓
			三杉太鼓

●管内の学力平均正答率 (令和7年)

●管内の体力合計点 (令和7年)

小学生

小学生

	国語	算数	理科
檜山	67.0	56.0	59.0
北海道	65.4	55.2	56.3
全国	66.8	58.0	57.1

	男子	女子
檜山	56.34	58.50
北海道	53.00	53.55
全国	53.02	53.97

中学生

中学生

	国語	数学	理科
檜山	57.0	45.0	49.5
北海道	54.0	46.7	50.5
全国	54.3	48.3	50.3

	男子	女子
檜山	42.13	46.90
北海道	40.88	44.70
全国	42.20	47.58

「北海道教育庁檜山教育局調べ」

●福祉

少子高齢化と人口減少が進行する中、保健・福祉サービスの充実を図り、高齢者・障がい者の介護や福祉、子どもを健やかに育てる環境の整備、地域と共に支え合い、誰もが安心して、いきいきと暮らすことのできる環境づくりに取り組んでいます。

●障がい者（児）福祉

管内で働く障がい者の賃金は、直近5か年で4万円台後半で推移しています。これは全道平均を大きく上回っています。

振興局では、働く障がい者を側面から支援するため、授産製品の展示・販売などを通じて働く障がい者や障がいを知ってもらうイベント「檜山障がいウィーク」を毎年檜山振興局や町役場で開催しています。

●高齢者福祉

檜山管内の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は、令和7年1月1日現在で44.6%と、前年同期に比べ0.2ポイント増加しており、全道の高齢化率33.0%を11.6ポイント上回っています。

振興局では、令和6年度からの第9期介護保険事業支援計画のもと、引き続き地域のニーズに応じた質の高いサービス提供体制の確保に取り組むとともに、高齢者の自立した生活につながる各町の取組を支援しています。

●子ども・子育て支援

振興局では、子育て世代を社会全体で支える環境づくりに取り組んでいます。

安心して「授乳・搾乳」と「おむつ替え」ができる場所を提供する各事業者様へ、「赤ちゃんのほっとステーション」設置の推進、社会全体で子育てにやさしい環境づくりとして、各事業者様や町と一体となって、「どさんこ・子育て特典制度」実施の推進について取り組んでいるほか、北海道の少子化の現状や、対策の必要性等を周知するため、檜山振興局で「少子化対策パネル展」を実施しました。

●生活保護

管内の保護率の動向は、平成23年度までは右肩上がりでしたが、それ以降は3.3%前後で推移し、平成27年の3.37%をピークに最近は下降傾向にあり、令和7年は2.75%と全道平均の2.91%を下回っています。

（R7は8月速報値）

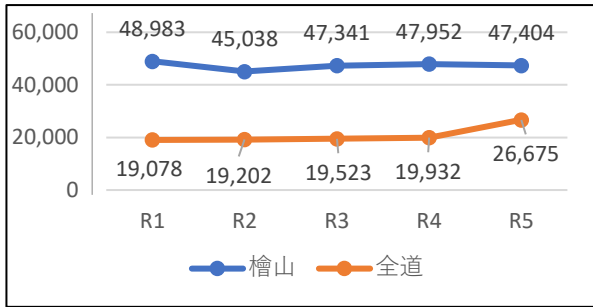


「檜山障がいウィーク2025」
（檜山振興局、江差町役場）



「少子化対策パネル展」
（檜山振興局1階 展示ホール）

●障がい者就労支援事業所の平均賃金（単位：円）



「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

●高齢化の状況

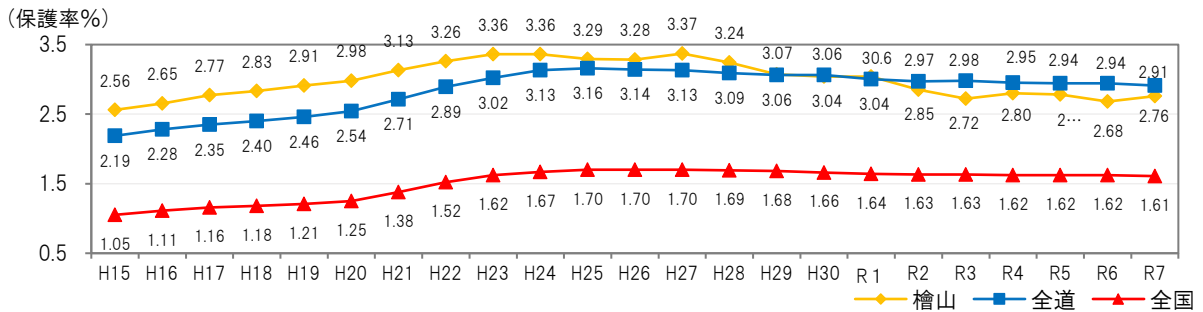
(令和7年1月1日現在)

	総人口(a)	65歳以上人口		
		人数(b)	高齢化率(b/a)	前年同期高齢化率比較
檜山	30,428人	13,568人	44.6%	+ 0.2%
全道	5,044,825人	1,664,663人	33.0%	- 0.1%

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

●生活保護の状況（推移）

※算出方法：「1ヶ月で保護した人数」÷「人口」×100



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
被保護世帯数	899	916	903	869	876	895	927	950	964	964	941	945	962	931	880	880	845	800	760	753	738	694	700
被保護人数	1,370	1,393	1,378	1,335	1,344	1,341	1,383	1,409	1,423	1,393	1,333	1,310	1,314	1,236	1,144	1,106	1,071	993	933	913	879	826	820

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」（R7は8月速報値）

●社会福祉施設等設置状況

(令和8年1月1日現在)

	高齢者施設等										障害福祉サービス			児童福祉施設		計	
	老人福祉				介護保険				その他	訪問系	日中活動系	居住系	保育所	児童館	幼保連携型認定こども園		
養護老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	有料老人ホーム	生活支援ハウス	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)	地域包括支援センター	サービス付き高齢者向け住宅							4	11
江差町	1	1	1		1		1	2	1		4	11	4	3	2	1	33
上ノ国町					1			2	1		5			1	1		11
厚沢部町			1		1	2		2	1		2	1				1	11
乙部町					1				1		4	3	2	1			12
奥尻町				1	1				1		2						5
今金町					1		1	1	1		2	4	4			1	15
せたな町	1			2	2	1		3	1	1	5	1	2	2		1	22
計	2	1	2	3	8	3	2	10	7	1	24	20	12	7	3	4	109

「檜山振興局保健環境部社会福祉課調べ」

○ 保健所の所管・役割

保健所は、地域住民の健康を支える広域的・専門的・技術的な拠点としての位置づけを持つ公的機関です。檜山南部5町（江差、上ノ国、厚沢部、乙部、奥尻の各町）は江差保健所が、檜山北部2町（今金、せたなの各町）は八雲保健所が各種事業及び取組を進めています。

○ 健康づくり

各保健所圏域ごとの「健康づくり事業行動計画」のもと、健康寿命の延伸を目的に、高血圧・糖尿病をはじめとする生活習慣病予防・重症化予防に焦点を当て、子どもから働く世代、高齢者まで切れ目ない健康づくり対策を行っています。

○ 在宅医療(医療・介護連携)

在宅医療提供体制が充実し、住み慣れた地域で適切な医療や介護の支援を受けながらあずましく（心地よく）暮らすことができるよう、保健・医療・福祉に携わる多職種が「南檜山医療・介護連携推進会議」、「在宅療養を支える多職種のつどい（北渡島檜山）」を通じて、在宅療養を望む方々への思いに応える支援が提供できるような連携づくりを行っています。

○ 救急医療

救急医療体制については、地域センター病院である道立江差病院・八雲総合病院が二次救急に対応し、三次救急は、主に救命救急センターである市立函館病院が担っていますが、離島の奥尻島や、搬送に救急車で2時間以上かかる地域もあることから、救命率の向上を図るため、市立函館病院を基地病院とした道南ドクターヘリが運航され、医療体制の充実が図られています。

○ 医療体制

檜山地域は、医療従事者の数が少なく、医療機関の数も十分ではありません。そこで、限られた医療資源を効果的に活用しながら、相互に分担や連携を進め、地域住民が必要な医療・介護サービスを受け続けられる体制の構築を目指し、令和2年9月に地域医療連携推進法人「南檜山メディカルネットワーク」を設立し、各種取組を推進しています。

○ 感染症対策

新興感染症や既存の感染症に対応するため、管内医療機関・町・関係機関等と連携し、医療体制整備や感染症予防研修会などに取り組んでいます。



20歳未満の者の喫煙防止講座



南檜山医療・介護連携推進会議

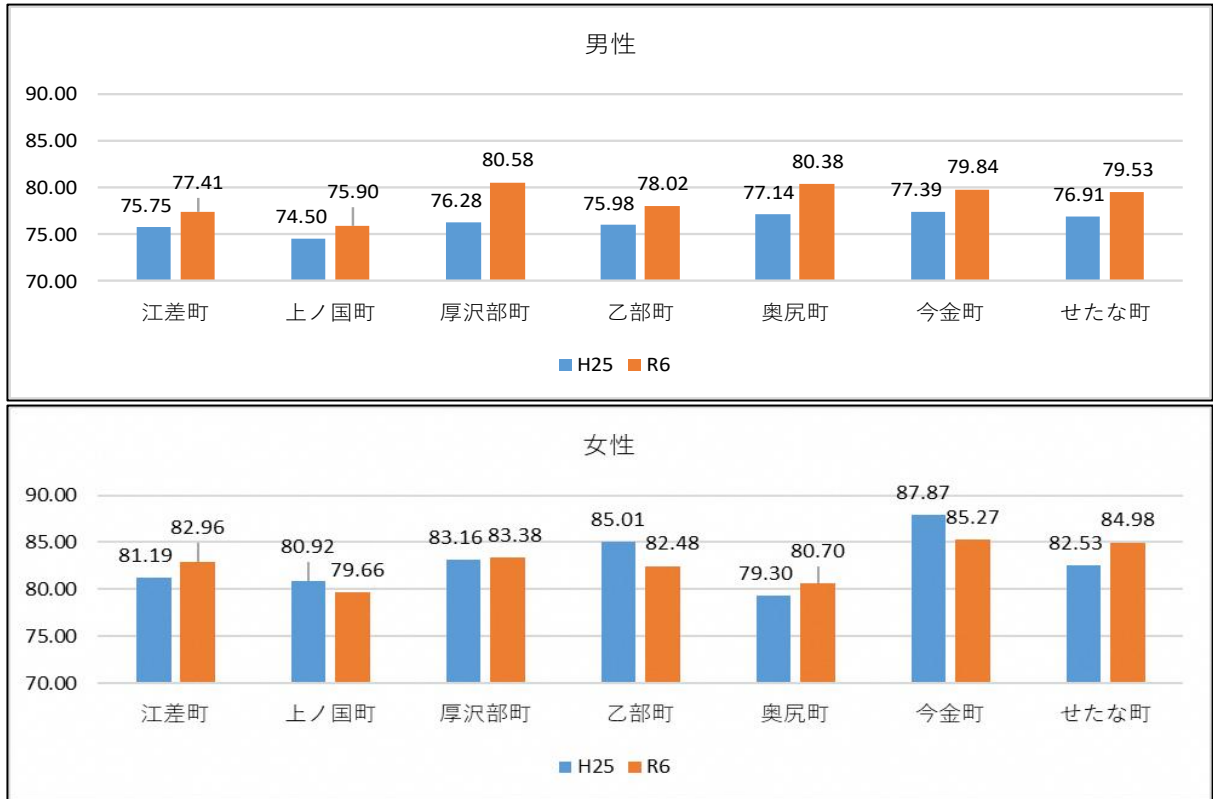


ドクターヘリ



感染症予防研修会

檜山の健康寿命



出典：北海道健康増進計画(平成25年版・令和6年版)

ドクターヘリ出動件数

	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	奥尻町	今金町	せたな町	計
令和5年度	33	7	14	8	24	30	18	134
令和6年度	30	16	7	6	12	7	19	97

出典：道南ドクターヘリ運航調整委員会 会議資料

保健医療施設数(令和7年12月1日現在)

	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	奥尻町	今金町	せたな町	計
病院	2	0	1	1	1	1	2	8
診療所※	2	2	0	0	1	1	2	8
訪問看護事業所	2	0	0	1	0	1	1	5
介護老人保健施設	1	0	0	0	0	1	0	2

※一般の外來診療を行わないものを除く

「檜山振興局保健環境部保健行政室及び渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室調べ」

● 環境教育

振興局では、管内の小学生を対象に、身の回りの不要品を再利用した工作や環境問題を啓発するポスターを募集・展示することで、若年層の環境への問題意識醸成するため、檜山造形教育研究会と共催し、ひやま環境創作コンクールを開催しています。

コンクールは、平成10年から令和7年までの間、通算28回行われ、令和7年度は、14校191作品の応募がありました。

そのほか、管内の高校を対象に環境について学ぶ出前授業や、小学生とその家族を対象にしたビーチコーミング（海岸清掃と併せて実施）など、関係機関と連携した環境教育を、地域と一体となり進めています。

● きれいな水環境

管内の北部に流れる「後志利別川」は、全国一級河川水質現況において、水質が最も良好な河川として、これまでに全国最多の24回選出されており、日本屈指の清流です。

● 環境衛生

ごみ（一般廃棄物）の総排出量は、令和5年度で12,979tと全道の約0.8%を占め、一人一日当たりのごみ排出量は1,123gと、全道平均の912gより211g多くなっています。

一方、ごみのリサイクル率は4.7%と、全道平均の22.8%を大きく下回っており、この背景には、リサイクル施設の整備の遅れ等があると考えられます。

また、汚水処理人口普及率は、令和6年度末で76.3%と全道の96.6%を下回っています。



ひやま環境創作工作コンクール
入賞・代表作品展示会（江差町）



高校生に対する出前授業（上ノ国）

数字で見る檜山

hiyama2026

●ごみ（一般廃棄物）処理の状況

区分	総人口 (人)	ごみ総排出量 (t)			ごみ処理量 (t)					中間処理後再生利用 (t)	リサイクル率 (%)	
		集団回収量	一人一日当たり排出量 (g/人日)	直接焼却	直接最終処分	その他	直接資源化	合計				
全道計	5,106,916	1,704,071	91,179	912	1,045,652	115,930	421,370	30,505	1,613,457	266,437	22.8	
檜山計	R5	31,628	12,979	230	1,123	8,474	1,100	3,176	1t未満	12,750	519	4.7
	R4	32,509	13,598	261	1,150	8,306	1,300	3,731	1t未満	13,337	509	4.7
	R3	33,451	13,093	260	1,059	8,695	522	3,616	1t未満	12,833	542	5.0

「一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）（令和7年3月公表）」

●汚水処理人口普及率

区分	行政人口 (人)	処理人口 (人)	普及率 (%)	処理の内訳 (%)				
				公共下水道	農業集落排水施設	漁業集落排水施設	合併処理浄化槽	
全道計	5,013,616	4,845,303	96.6	92.1	1.0	0.2	3.3	
檜山計	R6	29,944	22,839	76.3	52.4	6.3	5.2	12.3
	R5	31,077	23,560	75.8	52.1	6.2	5.3	12.3
	R4	32,046	24,136	75.3	51.9	6.2	5.3	11.8

「北海道建設部調べ」